※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　国際文化

教科	（学）国際文化	科目	（学）音楽総論	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」　「楽器を演奏すること」　「音楽をつくること」　「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テスト、質疑応答で評価します。
・音楽の学習はクラスメートとともに実際やってみて、試してみてこそ価値のあるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。音楽を単なる教科としてではなくリベラル･アーツの観点からとらえ、豊かな人格の形成を視野に入れる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な楽譜の知識と歴史を理解する。 楽譜をつかい歌唱、器楽、創作など創意工夫できる技能を身に付け、創造的に表現につかう。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図を持ち、評価しながら良さや美しさを味わい演奏し聴いたりしている。	音楽や音楽文化と豊かにかかわることで関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的･協導的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	音楽史	・西洋音楽の歴史 1年間通して、毎時間授業のはじめに行う。作曲された背景の歴史を確認することで音楽の理解を深め、現代の音楽につながる部分を確認する。	a:歴史と音楽の発達について考察している。 b:音楽を聴き形態の特徴をつかみ、さらに、背景になった歴史を考察しながら、自分の言葉で表現しようとする。 c:音楽を聴き気が付くことが増えることに喜びを感じ、同じジャンルの曲への考察を深め言葉での表現に生かしている。	知識の確認 振り返り 考察の様子	音楽が表現していることを考える 鑑賞の様子	感想レポート 言葉での表現の様子
	和楽器に挑戦	我が国の伝統楽器について ・歴史と知識を学ぶ。 ・鳴らし方を理解し演奏によって表現方法を学ぶ ・相互鑑賞。自己採点。	a:発音の仕組み・楽譜の読み方を理解している。 b:演奏実技により演奏上の工夫をしている。 c:和楽器を使ったアンサンブルをしている。	和楽譜の理解。 ・演奏実習	・発表 ・観察	・観察 ・感想レポート
2学期	音楽プレゼンテーション	・自分の興味のある分野の音楽について、研究考察しそれをまとめてクロムブックなど電子機器を使い発表する。	a:自分の研究対象の音楽を選んでいる。 b:選んだ題材について、技術・表現や演奏技法などについて研究している。 c:題材の背景や研究したことなどを電子ファイルや印刷物にまとめクラスで発表し、また他の発表について考察している。	題材決定の理由と内容の理解 振り返り	題材の研究の様子	ファイルの作成、発表 他者の発表の考察 振り返り
	声楽実習	効果的な体の使い方から呼吸法、発声方法を理解する。 独唱の表現方法を学ぶ。	a:発声練習と歌唱法を理解している。 b:歌唱実技を行っている。 c:楽曲の解釈と表現の工夫をしている。	・体を使った発声 ・歌唱演習	・歌唱実習	・観察。 ・ふりかえり
3学期	音楽総括	過去の音楽の歴史を踏まえて現在に至る流行音楽を考察する。	a：音楽史を理解している。 b：鑑賞する音楽を分析している。 c：音楽の楽しみ方を工夫している。	・鑑賞演習	・論文 ・質疑応答	・観察。 ・ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度